

① 基本事項	計画コード		22039		事業名		東海道街道環境整備事業		評価分類		A1		
	事業手法		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()										
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上					予算科目	会計	01:一般会計			
		基本施策	10:歴史文化を生かしたまちづくりの推進						款	08:土木費			
		施策の方向	01:街道を基軸とした歴史的風致の維持向上						項	02:道路橋梁費			
重点プロジェクト		02:「まち紡ぎ」プロジェクト					目		04:道路舗装費				
事業期間		R 4 年度 ～ R 11 年度			主な根拠法令等		道路法・道路構造令						
② 事業概要（P）	事業の必要性（経緯・背景等）		事業の対象（誰に、何に対して）			事業の目的（どのような状態にしたいのか）			事業の内容（どのような取組を行うのか）				
	本市の歴史的風致は、特色ある歴史文化遺産が存在する東海道を中心に受け継がれている。近年、関宿や亀山宿への来訪者が増加傾向にある中、安心・安全な道路環境の整備を行うとともに、歴史的風致の維持・向上を図る必要がある。		市民及び東海道街道への来訪者			市民や来訪者が、東海道という歴史的な道路であると一目でわかるよう、舗装の美装化を行い、東海道を中心とした沿道区域の魅力向上を図る。			社会資本整備総合交付金を活用し、亀山市東海道整備方針に基づき、市内における東海道全延長約19kmのうち、関宿東海道、亀山宿東海道などの約2kmの舗装の美装化を行う。				
③ 事業の実施状況（P・D）	年度		令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度	
	事業計画		○舗装工事			○舗装工事			○舗装工事			○舗装工事	
	活動実績 (計画通り実施できたか)		美装化の舗装工法について関係者と協議を行い決定し、舗装工事を計画通り完了した。 地蔵院小野線 L=1.0km										
	計画額	予算額	事業費	75,900千円	49,017千円	28,000千円		30,000千円		32,000千円			
			国・県支出金	37,950千円	24,500千円	14,000千円		15,000千円		16,000千円			
			地方債										
			その他										
			一般財源	37,950千円	24,517千円	14,000千円		15,000千円		16,000千円			
	決算額	事業費		49,018千円									
			国・県支出金	24,500千円									
			地方債										
			その他										
一般財源			24,518千円										
①期間内事業費(R4-7)		165,900千円			②期間外事業費(R8-)		0千円		①+②総事業費		165,900千円		

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	75,900千円
次年度への繰越額	26,883千円

④ 指 標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	舗装済延長(累計)	本事業において美装化した舗装延長	成果	km	計画値	1	1.2	1.5	1.9
					実績値	1			
					計画値				
					実績値				
					計画値				
					実績値				

⑤ 成 果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	国の社会資本整備総合交付金を活用して、東海道という歴史的な道路であると一目でわかるよう、舗装の美装化を行い、市民及び東海道街道への来訪者に東海道を中心とした沿道区域の魅力向上が図れた。
	十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市民及び東海道街道への来訪者	市民や来訪者が、東海道という歴史的な道路であると一目でわかるよう、舗装の美装化を行い、東海道を中心とした沿道区域の魅力向上を図る。

(再掲)

⑥ 課 題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	関宿周辺の舗装美装化であるため、観光での来訪者が多く、通行止めの事前周知が困難であることから、亀山市観光協会等と施工方法について協議を行う必要がある。 また、令和7年度以降に予定しているの亀山宿周辺の舗装美装化についても、工法を検討しなければならない。	

⑦ 事 業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和5年度で対応する(した)もの 美装化の舗装工法について関係者との協議を行い、舗装美装化を行う。	令和6年度以降で対応するもの 美装化の舗装工法について関係者との協議を行い、舗装美装化を行う。

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定	A			
	事業展開	継続(現状維持)			

1次評価者	建設部 建設管理課 道路保全GL 竹内 光利
最終評価者	建設部 建設管理課長 上村 剛